

# One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信  
DOSHISHA UNIVERSITY

202

2020 November

特集1

## 春学期の オンライン授業と今後

同志社人訪問

日産自動車株式会社  
社長兼最高経営責任者(CEO)

内田 誠さんに聞く

COVER INTERVIEW  
My Purpose 挑戦する人

My Purpose 挑戦する人  
を動画でCHECK!



2 **特集1** 春学期のオンライン授業と今後

5 **特集2** ウィズコロナ・ポストコロナの就職活動

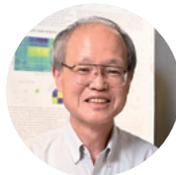
9 **特集3** 新学生寮紹介

11 **Seminar** ～ゼミ探訪 学びの時間～

心理学部 及川 昌典ゼミ  
理工学部 佐藤 健哉研究室  
文学部 山本 佐和子ゼミ  
法学部 尾形 健ゼミ

13 **同志社の研究は今**

行動神経科学研究センター  
研究センター長 櫻井 芳雄(大学院脳科学研究科教授)



15 **同志社校友会**

17 **INFORMATION**

2020年度 卒業式・学位授与式(学部・大学院) / 2021年度 入学式(学部・大学院) /  
本学教員の執筆図書紹介

18 **INTERVIEW** ～同志社人訪問～

日産自動車株式会社 社長兼最高経営責任者(CEO)  
内田 誠さんに聞く



21 **My Job, My Life** ～私と「仕事」～

小瀬 敦也さん(2015年 理工学部電子工学科卒業)  
森川 綾子さん(2018年 スポーツ健康科学研究科修了)

23 **COVER INTERVIEW**  
**My Purpose** ～挑戦する人～

安久 詩乃さん(心理学部 4年次生)



お知らせ

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。  
同志社大学の最新情報は随時ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。▶ <https://www.doshisha.ac.jp/>

# 春学期の オンライン授業 と今後



新関 三希代  
副学長・教育支援機構長

春学期には3タイプのオンライン授業を展開しました。

教材資料提示型授業、オンデマンド（動画配信）型授業、双方向オンライン型授業です。

実施に向けて大きな課題となったのは、学生の学びの質の維持であり、

教員は可能な限りの時間を注いで、綿密な事前準備を試みました。

秋学期は対面授業とオンライン授業を併用します。

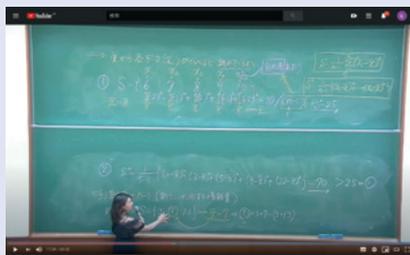
Wi-Fi完備の自習教室を大幅に拡大するなど学習環境の整備にも全力を傾注しています。



## 双方向オンライン型授業は 対面授業に近い効果を実感

—春学期から行われているオンライン授業の概要を教えてください。

実施しているオンライン授業には3つのタイプがあります。教材資料提示型授業、オンデマンド（動画配信）型授業、双方向オンライン型授業です。教材資料提示型授業はパワーポイントなどで作成した講義資料や課題などに音声や文字による情報を加えて提示しています。オンデマンド型授業では講義などを収録した動画を配信し、双方向オンライン型授業ではZoomやTeamsなどのWeb会議アプリケーションを使用したリアルタイム（ライブ）配信授業などを実施しています。「ネット配信」授業の視聴用端末はパソコン、タブレット、スマートフォンなどが想定されますが、授業の視聴、講義資料のダウンロード、課題などの提出、双方向で議論を行うオンライン型授業にはパソコンが最適です。当初はスマー



トフォンが多いのではと危惧したのですが、90%以上がパソコンで対応しています。インターネット接続に関しては通信制限がない光回線やWi-Fiモバイルルータなどを推奨しています。また、講義資料の配信や課題提示、動画の格納場所・視聴期間の案内、双方向オンライン型授業の受講のため

の情報提供は、学修支援システム DUET や e-class (Learning Management System) で行っています。

3タイプのオンライン授業の実施比率は教材資料提示型授業が約47%、オンデマンド型授業が約18%、双方向オンライン型授業が約60%です。合計すると100%を超えています。これは複数の「型」を併用しているからです。例えば、私の授業ではオンデマンド型授業と双方向オンライン型授業を組み合わせで展開しています。比率的にオンデマンド型授業が少なかった理由の一つは発言などの訂正ができないからです。もう一つは著作権の問題であり、特に当初はナーバスになられた先生が多かったです。その後、文部科学省の方で配慮いただいたので、使用度は増加しました。学生からは教材資料提示型授業の場合、どうしても一方通行的な授業になるのでオンデマンド型授業や双方向オンライン型授業も併用してほしいという要望がありました。先生の音声などはあっても、教材資料を自分一人で読み込み、理解しなければならないという不安や孤立感が生じたようです。双方向オンライン型授業は使い勝手が良く、学生にも好評でした。私もゼミでZoomを使用し、対面授業に近い効果を実感しています。少数でのグループミーティングも自在に行えます。ワンクリックで録画保存し、何度でも確認のために見直すことができるのも利点です。当初はTeamsのみでしたが、Zoomの評価が際立っていたので6月から導入しました。また、理系でも状況を踏まえてZoomなどをを用いたオンラインで実験の授業を行うなど工夫を凝らしていただきました。

オンライン授業の実施に向けて大きな課題となったのが、学生の学びの質をどのようにして維持するかという点でした。これに対処するために、教員は可能な限りの時間を注いで事前準備を試みました。具体的にはオンデマンド型授業や双方向オンライン型授業を実施する場合でも、教材資料提示型授業に準ずる補足資料を作成して提示しています。オンデマンド型授業で約80%、双方向オンライン型授業で約70%の比率です。これは同志社大学のオンライン授業の際立つ特徴だと思えます。なお、同志社大学は関西の同規模の私立大学や国公立大学を含めて唯一システムダウンを起こしませんでした。理由はデバイスをDUETとe-classに分化しており、その使用度がほぼ同率だったからです。

## 欧米と比べて少なかった 自発的な学びの時間が拡大

—春学期をふり返ってどのような実感を  
得ておられますか。

5月、6月に教員、学生にアンケート<sup>※</sup>を実施しました。教員からは学生一人ひとりへの対応をできる限り重視したが、とにかく全面的なオンライン授業は初めての試みであり、試行錯誤も多かった。普段は学生の反応を細やかに見ながら授業を進めていたが、対面のように把握できない。Zoomなどによる双方向オンライン型授業では、表情を確かめながら対話できるので従来に近い感覚だが、それ以外の方式ではどこまで理解しているのかが分かりづらい。授業の準備に非常に時間がかかり、かなり疲労した。プラス面では学生から質問が多く、積極的に学ぼうとする姿勢がこれまでよりも顕著になった。課題が多いことも影響していると思うが、対面授業よりもオンライン授業の方が質問しやすいのかもしれないといった実感や指摘がありました。学生の回答で最も多かったのは課題が多過ぎるという不満です。これは先生方にレポートによる評価（GPA）をお願いしたからです。その結果、学生は課題の提出に日々追われたのです。また、受講の情報提供や授業などでDUETとe-classが併用されたために、確認に手間取ったという声も多数ありました。オンライン授業で良かった点については、時間や場所の制約を受けず、自分にベストな時間配分で主体的に勉強ができたという感想が数多くありました。ただし、自由過ぎてスケジュール管理が上手くできず、ルーズになったという学生もいました。特に緊急事態宣言によって、入学後に新たな友人が作れず、未体験のオンライン授業で勉強しなければならなかった1年次生の負担は大きく、今後に向けての重い課題となりました。

—オンライン授業の教育効果についてはどのように捉えておられますか。

日本の大学教育は単位制度を基本としており、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成することが標準とされています。具体的には授業が15時間、その前後の予習・復習が30時間という配分です。しかし、我が国の学生の自発的な自習時間は欧米と比べて非常に少なかった。例えば、日本の大学生の場合、1週間で5時間弱が50%前後なのに対して米国は約15

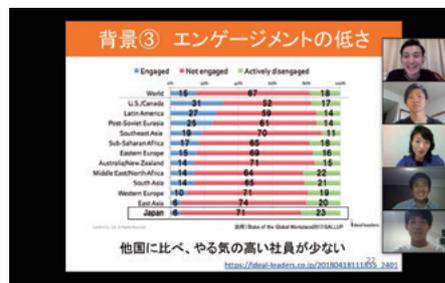
※アンケート回答率は16%

時間であり、その差は歴然です。現時点で、まだ詳細なデータは出ていませんが、オンライン授業によって同志社大学の学生の自習時間は確実に拡大しています。自発的な学習を促す効果があり、これが個々の学びの深化につながっています。また、双方向オンライン型授業の実施で外部講師の招聘が格段に容易になりました。これまでは日程の調整、旅費など様々な面で段取りが大変でしたが、Zoomで参加していただけるからです。例えば、私のゼミでもすでに東京はもとより英国、米国などの海外も含めて30人以上のゲストスピーカーをお招きしています。これはオンライン授業ならではの画期的なメリットであり、新型コロナウイルス感染症が収束に向かった後も継続的に活用していきたいと考えています。私も行っていますが、授業を終えた後、その動画をYouTubeで期間を限定して公開されている先生方も数多くおられます。復習に柔軟に活用でき、理解を深めるのに大きく役立っています。

## 対面とオンラインを併用し Wi-Fi完備の自習教室も新展開

### 一秋学期の授業の実施体制などについて聞かせてください。

対面授業とオンライン授業を併用していきます。秋学期開始前の時点では科目ベースで今出川校地の場合3対1、対面授業3に対してオンライン授業1の比率を想定しています。京田辺校地の場合は2対1となります。登録者ベースでは両キャンパス共に1対1です。小規模クラスを中心に対面授業に移行します。大規模クラスでは本学が定めるガイドラインの教室収容定員を超えることが多いため、主にオンライン授業で実施します。ただし、1年次生対象の授業では学部にもよりますが、基本的に大規模クラスであっても対面授業を重視します。使い勝手の良さで評価の高かったe-class



は、クラウド化を行い、アクセスユーザー数の拡張をしました。2017年に4年契約で導入したのですが、当時は新型コロナ禍を予測していなかったため、アクセスユーザー数の想定は2000でした。しかし、科目数は昨年の3784科目から春学期は5140科目となり、オンライン授業のための講義資料などのアップに関しても集中する時間を避けてもらうなどの配慮をお願いしましたが、システム改修によってアクセス



ユーザー数は5000まで対応できるようになりました。学内でオンライン授業が受けられる環境整備も推し進めています。今出川校地180教室、京田辺校地58教室にWi-Fiを新たに完備し、自習教室として活用できるようにしています。対面授業とオンライン授業の併用では、例えば1限目と3限目が対面授業で2限目がオンライン授業といったケースが想定されます。この場合、自宅が非常に近距離に位置している学生を除いて2限目のためだけに帰宅し、また大学に戻るのは無理だからです。学内の自習教室で対応すれば、問題は生じません。また、教材資料提示型授業やオンデマンド型授業と双方向オンライン型授業を受講している学生が混在すると学習に支障をきた

すために、声を出して良い教室といけない教室の区分も行っています。さらに、基礎疾患などがあり対面授業に出られない学生に配慮した授業録画配信も想定し、サポートスタッフの確保・増員も図っています。新型コロナウイルス感染症拡大予防についても最大限の配慮を継続実施しています。

### 一いま、新型コロナ禍の中で学生の皆さんに特に望むことは何ですか。

自発的に学習する姿勢を何よりも重視し、大学での学びを深めてほしい。そのためには、自分で主体的に計画し、確実に遂行する実行力も大切です。欧米と比べて日本の学生の自習時間は圧倒的に少ないことを自覚し、春学期のような課題の多さに戸惑うのではなく、積極的に取り組み、成長の糧にしてください。オンライン授業で活発化した質疑や討議の経験を対面授業でも生かしてください。これからICT（情報通信技術）を活用した勉学は、さらに重要になっていきます。これに精通し、情報対応能力を高めることも、自身の将来に必ず役立ちます。例えば、私のゼミの学生はファイナンスの研究を推し進めるために、自身の視点で最先端の金融情報を提供するブルームバーグ端末に着目して、これを巧みに使いこなせるようになり、学生対象の投資コンテストにも応募しています。期待する勉学の在り方の一例です。新型コロナ禍という困難な状況下ではありますが、個々に熟考し、そこから得た自らの観点と判断で、積極的な学修を続けてほしいと願っています。私たちもより良き学びの日々を創出するために、全力を尽くします。

## 秋学期授業の実施体制などの概要

- 対面授業とオンライン授業を併用して展開します。その比率は現時点で科目ベースの場合、今出川校地は3対1、京田辺校地は2対1を想定しています。
- 使い勝手の良さなどで評価の高かったe-classをクラウド化。このシステム改修でアクセスユーザー数は2000から5000へ拡大しました。
- Wi-Fi完備の自習教室の拡大を図り、対面授業とオンライン授業の併用に即応。具体的には今出川校地180教室、京田辺校地58教室で新たにWi-Fiを完備しています。
- 基礎疾患などがあり対面授業に出られない学生のために、授業の録画配信を実施。サポートスタッフの確保・増員を図っています。
- 新型コロナウイルス感染症予防に関しては、春学期と同様に最大限の配慮を行っていきます。

ウィズコロナ・  
ポストコロナの  
就職活動



キャリアセンターを上手く活用し、  
自らと向き合う覚悟と準備を。

キャリアセンター所長  
岩田 喬

**まずは、就職活動に向き合う  
強い意思と姿勢をもってください。**

コロナ禍の影響で、就職に向けて不安な気持ちの方も多いことでしょう。今回、そんな学生の皆さんのために、望む進路にむけて、キャリアセンターが行っている様々な支援やその活用法についてお話をさせていただきます。

そもそも、就職活動をうまく進めるためには、何よりもまず自分自身の前向きな意思が必要です。その思いがあればこそ、私たちは皆さんの能力を引き出すための支援ができるのです。言わば、自分の意思で自分の将来を切り拓こうとする人を後押しするのが、キャリアセンターのスタンスです。就

職に向けて、自主的かつ積極的な意思をもって相談いただければ、きっと上手に様々なキャリア支援策を活用していただけるはずです。

**採用活動の早期化と長期化が  
ますます顕著になると予測されます。**

ご存じの通り、コロナ禍の影響で採用市場は大きく変化しています。現4回生はOB・OG訪問も制限され、企業説明会などにも十分参加できず、情報収集がうまく進まずかなりの苦戦を強いられました。キャリアセンターが行った緊急アンケートでも、例年通りの「企業の手駒が少ない」「面接が通らない」という悩みに加え、「企業からの連絡が途絶えた」「他の学生の動

向がわからない」「気軽に相談できる場所がない」といった、コロナ禍によって生じた悩みを抱えていました。そんな中で次年度の採用市場については、以下の2つの特徴が顕在化していくと予想しています。ひとつは、早期化です。先行きが不透明な現在の状況を受けて、採用人数を絞って、早期に優秀な人材獲得に乗り出そうとする企業では、夏、秋、冬のインターンシップを経験した学生から選考を進める傾向がさらに強まることが予想されます。

続いて3月1日以降は、本格的な採用活動が始まります。もしその波にうまく乗れなかった場合、ゴールデンウィーク以降も新たにエントリー企業を探すことになり、採用時期が後ろに

# PLACEMENT 2021

ズレ込み、就職活動の長期化に巻き込まれることは目に見えています。キャリアセンターでは、この早期化と長期化を見据えた対策を準備しています。

## 自分を見つめる努力と、自分を語るスキルが一番の武器になります。

予想される厳しい状況の中、就職活動の波に乗るためには、とにかく早く動き出すことが重要です。

キャリアセンターでも、今年はガイダンスなどすべてのプログラムを例年よりも前倒しで実施することにしました。10月からオンラインでスタートさせた「業界・企業研究セミナー」や3月開催予定の「企業採用説明会」では想定を大きく上回る多くの企業からの申し込みがありました。結果的に、延べの参加企業数は約1,400社と例年以上となり、幸いにも企業側の採用意欲は低下していないことがわかりました。

前述の通り、早期の動き出しを前提として、就職活動で思うような成果をあげるために必要なスキルとは何か。それは、自分をどのように売り込むかというセルフプロデュース力を身につけること。そして、自分自身の強みや自分の思いをしっかりと語る力、話で人の心を惹き付けるストーリーテリングの力です。

一見異なるこの2つの力ですが、いずれも自身としっかり向き合うことで連動して磨けるスキルです。自分と向き合うということは、自分の弱い部分

をも見つめることでもあります。それは誰にとっても辛いものです。自分一人で黙々と考え込むのではなく、例えば友達から客観的な意見をもらったり、両親に意見を聞いたり、自分をよく知る身近な人に協力してもらうのが効果的です。

自分の得意と不得意な部分をしっかりと見極めることで、自分がどのような企業とマッチするのかという戦略を立てられるようになり、戦略が整えば、それを実現するために、取り組むべき戦術も明確になります。就職活動では、弱みを補うより、強みをより強化したプロデュースの方が有効です。

キャリアセンターでは、企業の人事経験があるキャリアアドバイザーが常駐し、自己分析のサポート、戦略や戦術を上手く進めるための相談にも乗っています。ピーク時には1日108人まで対応できますので、ぜひ活用してください。

## 個々のペースや状況に合わせたキャリア支援を行っています。

自己分析を進めるスピードは、どうしても個人差が出てきます。周囲の動向に一喜一憂せず、不器用でも一步一步着実に進めていくことが大切です。

例えば、初期段階のエントリーシート作成は、30分の個別相談ですべてを完了させるのは難しいので、1回1項目ずつ解決していけばいいのです。また、就職活動そのものについて、何かから手を付けて良いかわからないとい

う場合でも、スケジュール管理、戦略と戦術の立て方をはじめ、その人に合った道筋と一緒に組み立てていくことができます。最終的に就職活動が滞ってしまった時のために、面接をセットにした会社説明会も実施します。学生と企業を結び付け、大学卒業からの空白期間が生まれることのないように、最後のひと押しまでサポートしていきます。

先行きのまだ見えないコロナ禍で就職活動に取り組む上で、不便さは大きいにあると思います。しかし、学生の皆さんには、この状況を逆手に取るぐらいの気概を持ってほしいと思います。オンライン面接が中心になれば、足を運ばなくても良い分、多くの企業と出会える機会を増やすことも可能です。関西から遠い首都圏ベースの企業にもチャンスあります。オンラインセミナーなら、リアルタイムで参加できないときも、アーカイブなどを都合の良い時間に見返して情報を取得することもできます。

厳しい現状も前向きに受け止め、その中で自分が納得いく答えを導き出すために、キャリアセンターは、皆さんにとって、もっとも身近なサポーターでありたいと考えています。そして一人でも多くの学生の皆さんが将来を明るく照らす力になれるようサポートしていきたいと思っています。

## 2022年春採用の就活スケジュール



# 来年度就職を目指す皆さんへ

## 「コロナ禍での就職戦線を戦い抜く心構えを」

### コロナ禍での就職戦線を 戦い抜く心構えを

来年度の就職を目指す皆さんが気になるのは、自分たちの就職活動が厳しくなるのかどうかだと思います。この点については、ここ数年で就職活動を行った先輩たちよりも厳しくなることが予想される、というのが正直なところです。

しかし、就職活動を悲観しすぎる必要はありません。日本国内では労働人口が減少し続けていることから、採用に熱心な企業もあります。また、コロナ禍で業績が悪化する企業がある一方で、リモートワークの増加や新型コロナウイルス感染予防関連等により、業績を伸ばしている業界・企業もあります。

大切なことは、「早めの準備と幅広い視点を持つ」、「あきらめず粘り強く取り組む」、「自分で考えて決める」の3点です。

キャリアセンターでは、様々な就職支援プログラムや個別相談で皆さんの就職活動をサポートしています。就職活動は情報戦です。キャリアセンターを上手に活用しましょう。

### 就職を取り巻く状況と キャリアセンターの支援について

ここからは、本学の現4年次生・大学院2年次生の就職活動の状況と、キャリアセンターが実施する現3年次生・大学院1年次生向けの就職活動支援について説明します。

#### 現4年次生・大学院2年次生の状況について

現4年次生である2021年4月採用の就職活動は、前年と同様に、企業の採用活動のうち、広報活動が「3年次生の3月」から、選考活動開始が「4年次生の6月」からというスケジュールとなりました。売り手市場を背景に、昨年以上に採用活動が早期化すると予想されましたが、3月以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面式で開催する予定だった学内の企業研究セミナーや学外の各種企業説明会が相次いで中止となり、学生の間に不安が広がりました。

一時的に採用活動を中断する企業もありましたが、多くの企業で、WEBによる説明会や面接等採用活動のオンライン化が進み、遠隔地から説明会や選考に参加できるようになりました。

キャリアセンターが6月中旬に、現4年次生・大学院2年次生を対象に実施した就職活動状況に関する調査結果をみると、回答者の約半数が就職活動を継続していました。企業の採用選考スケジュールが後ろ倒しになったことや、採用計画が変更されたことが要因として考えられます。

このような状況の中、キャリアセンターでは、

4月から個別相談、面接対策のワークショップ、学生間での交流会を全てWEBで開催し、6月から9月にかけて継続的にWEBによる企業説明会（6・7月に約190社、9月に約30社参加）を実施しました。また、現4年次生・大学院2年次生向けの就職活動支援特設ページを開設し、採用情報提供を行う等の支援を行っています。

#### 現3年次生・大学院1年次生向けの就職支援について

キャリアセンターでは、5月のインターンシップに向けた準備ガイダンスを皮切りに、月1回位のペースで就職活動準備プログラムを実施し、9月には、本格的な就職活動を見据えたガイダンスをWEBで開催しました。このガイダンスでは、早めの就職活動準備と情報収集の重要性について具体的に説明しています。

コロナ禍により、就職を取り巻く環境が急激に変化していますが、就職環境の良悪にかかわらず、皆さんが企業にアピールすべきことは、主に、根拠に裏付けされた皆さんの強みと、企業への熱意の2点です。また、皆さんが知っている大手企業や有名企業は、就職環境に関係なく、常に「厳選採用」であることを覚えておいてください。大手企業や有名企業には、全国から何千何万人もの学生からのエントリーがありますので、全員が面接選考までたどり着くことはできません。まずは、エントリーシートで自身をアピールすることが重要です。キャリアセンターで実施するエントリーシートセミナーや講座に参加し、まずは自分らしいエントリーシートの書き方を身につけてください。

また、10月下旬から来年3月初旬の間に、約1,400社（延べ）もの企業を招聘し、業界・企業理解を深めるセミナーをWEBで開催します。学外で開催されるセミナーと異なり、学内セミナーは、同志社大学生だけのために多くの企業が参加してくださる点が魅力です。現時点で興味がある業界・企業だけではなく、幅広い業界を見て比較し、職業選択の幅を広げてください。

特に、皆さんが知っている企業は、一般消費者向けのビジネスを展開するB to Cの企業が多いですが、日本には、企業向けのビジネスを展開するB to Bの企業が数多く存在します。B to Bの企業の中には、世界でトップシェアを誇るような企業が数多くあります。今知らない企業でも、ぜひ積極的に情報収集をしてください。

キャリアセンターでは、皆さんからの個別の相談にも対応しています。相談というと身構えてしまうかもしれませんが、就職活動について話を聞いてほしい、考えを整理したいので誰かと話したいといった際にも気軽に利用してください。多くの先輩たちも、就職活動の進め方や、エントリーシートの書き方等様々な相談をしています。

就職活動では、一見すると明確な数値や基準のない中で採用・不採用が決まります。自信をもって提出したエントリーシートや履歴書が通過しない時や、手ごたえがあった面接が不合格だった時は、自分自身を否定されたような気持ちになるかもしれません。落ち込んだ時は、一人で悩まずにキャリアセンターを大いに頼ってください。

### 企業の求める人材

経団連が実施したアンケートによると、企業が新卒採用時に重視する能力の1位は、毎年「コミュニケーション能力」です。2位以下には、「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」が続きます。企業が新卒の学生に求める力は、「コミュニケーション能力を有しつつ、自ら主体的に行動し、実行する力」と集約できるでしょう。

コロナ禍の影響で急増したオンラインによるコミュニケーションは、直接会って話すのとは異なる難しさがあります。これまで以上に相手の意見を聴き、その上で自分の意見を伝えることが重要です。今年は多くの企業でWEB面接が実施されましたが、通信が途中で途切れてしまう、音声聞きづらい、カメラが機能しない等、様々な問題が起きました。面接の緊張感が加わり、パニックになった学生もいました。トラブルに柔軟に対応できるよう、事前にPC操作に習熟しておく等の準備をしてください。

また、コロナ禍でリモートワークが増え、職場で働いている時よりも仕事の全体像が見えにくい状況になっています。指示を待つだけの受動的な姿勢では、業務に支障が生じることがあります。これからの社会人は、これまで以上に主体的に課題を発見して、対策を考え、解決に向け挑戦し、業務を遂行する力が求められます。

### 最後に

就職活動では、学生時代に頑張ったエピソードを通じて、皆さんがどのような状況でどのように考え、どのように行動したのかが問われます。しかし、コロナ禍の影響で、クラブ・サークル活動、ボランティアやアルバイトが制限される中、何をどのように伝えるのが課題となることが予想されます。

大切なのは、何らかの目標を達成したという結果ではありません。目標を達成するまでにどのような努力をしたのかというプロセスを伝えることが重要です。プロセスの中に、皆さんの強み、人間性、価値観、能力等が表れるからです。

「早めの準備と幅広い視点を持つ」、「あきらめず粘り強く取り組む」、「自分で考えて決める」の3点を意識しながら、自分を信じて前向きに就職活動に取り組みましょう。

# PLACEMENT 2021

## 今年度就職活動をした先輩からのメッセージ

(「2020年度 就職に関するアンケート」から)

**自** 分と向き合うのはしんどいですが、ちゃんと向き合った方が今後のためになると思います。  
経済学部

**行** き詰まったときには周囲の人を頼ってください。  
経済学部

**そ** の業界にしようと思った理由や、その企業を見つけてからエントリーしようと思った理由をよく聞かれます。時間が経つと忘れてしまうので、メモしておくといいと思いました。  
経済学部

**早** めに就職活動始める事は非常に大切ですが、次の2点は絶対に避けて下さい。1点目は、インターンシップの可否に一喜一憂する事。2点目は、インターンシップに参加する事が目的と化す事。就職活動はあくまで本選考が軸です。インターンシップに参加できたから内定を頂けるわけではないです。私はインターンシップに参加するだけで、自己分析を疎かにしてしまった事が大きな反省としてあります。インターンシップへの参加、OBOG訪問と共に自己分析を入念にして、本選考での面接に備えて下さい。  
経済学部

**自** 分がどのような仕事がやりたいか、その仕事をするためにどんな経験をしてどのように仕事に活かせるのか。ここに一貫性があり、面接でも自分をアピールできれば問題ないと思います。  
商学部

**S** PIなどの勉強はできるだけ早くから始めた方が時間に余裕ができて良かったと感じました！私はギリギリになってやり始めたのでこの点については反省です。インターンシップに参加すること

によって後々早期選考にのることができたり、志望理由に説得力が増すと思うので気になる会社があれば参加してみるのがおすすめです！自分のペースで無理せずに頑張ってください！  
政策学部

**自** 分の言葉で話すようにしてください。  
政策学部

**就** 職活動に関する情報はできるだけ早い時期から収集するようにしておく、選考が始まったときに焦らず済むと思います。  
生命医科学研究科

**と** にかく、早い時期から始めたほうがいい。  
生命医科学研究科

**自** 己分析と企業研究は早く始め、しっかりと熟考する方がよい。  
生命医科学研究科

**就** 活は早くから取り組んだもの勝ちだと思います。持久力勝負です！面接やエントリーシートでうまくいなくても合わなかったけどとすぐ切り替えて次にいきましょう！  
文化情報学部

**第** 一印象が重要だと思います。なので、普段より明るく笑顔で対応することが大切だと感じました。  
文化情報学部

**自** 己分析はなんとなくでは不十分であり、自分の経験と今の性格を紐付けて論理的に話せるようになるまでやっておくべきです。  
文学部

**今** 後web面接の機会が増える可能性もあるので、web面接と対面の面接とでは雰囲気など違う点がいくつかあるので、web面接の対策もとっておくと良いと思います。中でも私は時間の使い方や、自分の熱意や想いを伝える事が難しいと感じたので、そういった点に注意すると良いと思います。  
文学部

**有** 名企業もそうでない企業も、偏見なく、たくさん企業の事が知ることが成功の鍵となると思います。  
法学部

**将** 来自分がどうありたいかを明確にしておくことが最も大切。その為には、自己分析と他己分析を徹底的にやることをオススメします。  
法学部

**人** に頼ること、笑顔で面接にのぞむことが大事だと思います。  
理工学研究科

**長** 期インターンシップは参加できると本選考で有利になるだけでなく、何となく抵抗があった自己分析や業界研究を始めるきっかけになるので、ぜひチャレンジしてください！  
理工学研究科

**初** めは業界や職種を絞らずに広く企業を見るのが大切だと思う。その中で自分が惹かれる人や興味を持った事業を分析していけば、おのずと自分に合った企業が見えてくると思う。早くから就職活動を始めると、このように広く業界を見てから絞っていく余裕もできるので、とにかく早く動くことが重要。  
理工学研究科

**自** 分に自信を持つこと。新卒はポテンシャル採用なので「この企業は自分では入れない」とエントリーの幅を狭めないこと。Webテスト対策は今すぐ始めるべき。  
理工学部

## 今後開催する主な支援プログラム

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度のプログラムはオンラインで開催しています。(今後、一部対面式で開催する可能性があります。) こちらに掲載していないセミナー・プログラムもあります。

詳細は、キャリアセンターホームページ、キャリア支援システム「e-career」、キャリアセンター掲示板を随時確認してください。

セミナー名	開催時期
就職ガイダンス	9月より開催中
業界・企業研究セミナー	開催中～2021年2月
企業採用説明会	2021年3月1日～8日、6月以降
エントリーシートワークショップ	開催中～2021年4月
面接ワークショップ	開催中～2021年6月
内定者との座談会	11月～2021年1月
U・Iターンセミナー・自治体相談会	11月10日、11日
公務員・公立学校教員業務説明会	12月7日～11日

●開催が終了したプログラムについては、キャリアセンターホームページ、または「e-career」から視聴可能です。  
※本学在学生のみ視聴可能です。※一部のプログラムは動画配信は行いません。

キャリアセンターホームページ

<https://career-center.doshisha.ac.jp/>



e-career

<https://e-career.doshisha.ac.jp/portal/>



●学部3年次生・大学院1年次生を対象とした特設ページを開設しています。就職活動に関する様々な情報を掲載していますので、対象年次の方は確認してください。  
[https://career-center.doshisha.ac.jp/support/events\\_2.html](https://career-center.doshisha.ac.jp/support/events_2.html)

## 個別相談について(対面・WEB・電話) 予約制

キャリアセンターでは、経験豊かなキャリアアドバイザーやキャリアセンタースタッフが、進路や就職活動に関する悩みや疑問等の相談に対応します。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、WEB・電話による相談も実施しています。

## 「就職ガイドブック2021」の発行

学部3年次生・大学院1年次生を対象に、就職活動を進める際に必要な情報や、キャリアセンターの利用方法等を掲載した「就職ガイドブック2021」を9月中旬頃に帰省先住所に郵送しました。紛失した場合や、外出先で閲覧したい場合は、キャリアセンターホームページの「在学生向けコンテンツ 動画配信・アンケート結果など」からデータ版を確認してください。

「多様な価値観を理解しあい、その違いを新たな創造へ導く力を持つ人物の養成を目指す。」

2021年9月  
入寮開始  
(予定)



(完成予想図)

## 1 エントランス

エントランスに企画イベントスペース、展示スペースを設置しており、皆が必ず通る場所で一緒に企画ができる、寮生交流の場所にもなっています。またご両親などが訪ねてくる場合には、エントランスのスペースで会話ができるようにしています。2階、3階フロアへのアクセスは、このエントランスから専用のエレベーター、階段を利用します。入室の際にはICカードを利用し、寮生以外が通れないようセキュリティを高めています。



### 概要

- ・同志社大学VISION2025にて掲げられた「日本人学生と外国人留学生が区別なく生活を共にし、学びあえる寮」を具現化した本学初の「教育寮」。
- ・京都市市街地景観整備条例にもとづく勾配屋根と軒庇の外観、高さを低く抑えることで周囲の街並みと調和するデザイン。
- ・地階と1階にはワークショップルームを配置し、外部の方へのプレゼンテーション等が可能なエリアを設置。
- ・各フロアにはシャワールームを配備、地階には浴室を設置。
- ・入寮募集は、2021年1月～開始予定。入寮費・寮費（月額）は現時点で未定であるが随時下記URLにて発表。  
[https://www.doshisha.ac.jp/students/l\\_support/living\\_intro/new\\_dorm.html](https://www.doshisha.ac.jp/students/l_support/living_intro/new_dorm.html)
- ・留学生2名、日本人学生3名の5名を1ユニットとして、1フロアに16ユニット80人が居住。

### 教育寮コンセプト

- ・人種、性別、障がいの有無、文化等の様々な違いや背景を持つ学生が混住・交流する環境のもと、多文化共生、地域社会との異世代共生を実践する生活を通して多様な価値観を理解し合い、その違いを新たな創造へ導く力を持つ人物の養成を目指します。
- ・共同生活を通じた人格形成の場という学生寮の特長を伸ばさせるため、寮生は全員Residential Learning Program（寮生が、地域社会との関わり等を通じた実践学習に参加し、その成果の発表や振り返りを通して自己の成長を確認する取り組み）に参加いただきます。プログラム内容は今後決定いたしますが、まずは寮に慣れ、大学に慣れ、地域に慣れることをスタートとして、地域との関わりに重点をおいたプログラムになる予定です。

建物 ■場所：京都市上京区新町通今出川下る徳大寺殿町345番 ■構造：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 ■延べ床面積：7566㎡  
概要 ■居室数：180室 ■居住年数：2年 ■入寮開始日(予定)：2021年9月 ■寮食はありません、自炊もしくは大学食堂等をご利用ください。

## 2 回遊ラウンジ



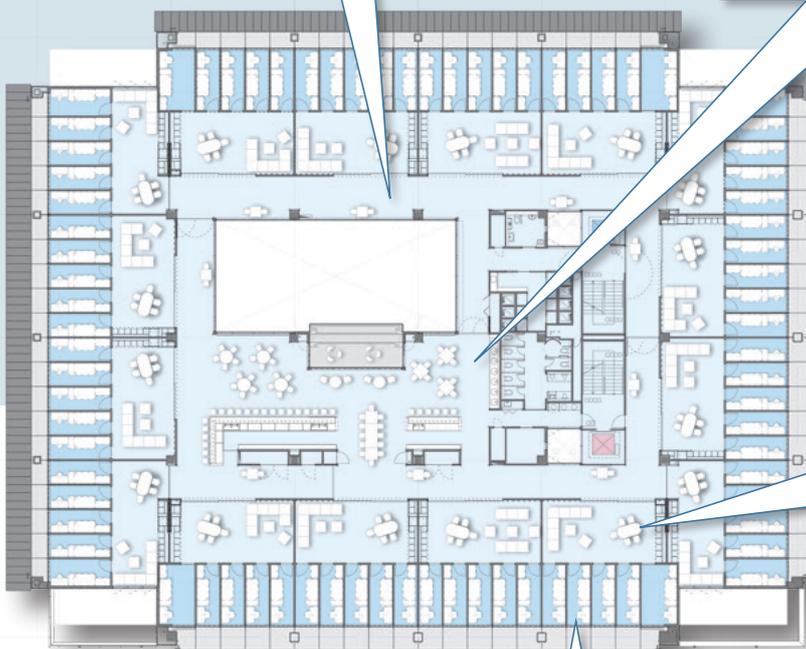
廊下という概念をなくし、皆が通る動線を回遊ラウンジと称して、日常的にフロアにいる全員と出会う機会を増やすようにしています。

この回遊ラウンジは自然（光・風・緑）を感じ、コミュニティラウンジとリビングを緩やかにつなぐ快適な交流空間になります。

## 3 コミュニティラウンジ



1番アクティブで大勢が集まれるコミュニティラウンジを建物の中心に配置しています。どの部屋からも気軽にアクセスができ、カフェのようなデザインのキッチンダイニングで日々の食事が作れます。気軽に自習・共同学習や企画、パーティーができる場所となります。近接する光庭から入る光と周囲の回遊ラウンジ、リビングと一体となった広々としたスペースとなります。机や椅子も寮生が集まりやすいように可動しやすいものになっており、様々な人数でのディスカッション等ができる仕組みになっています。



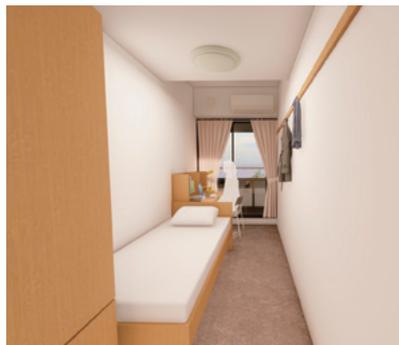
## 4 リビング



リビングは5人1ユニットの個室の前に配置されています。ユニットの5人が集まり共同学習や共同企画などを考える場所となり、個人でゆったりと読書をするなどのくつろげる場所にもなります。リビングの扉を開けた状態であれば、回遊ラウンジと一体となったときには行き来する寮生との交流が可能になります。回遊ラウンジに面した壁にはメッセージボードを配置して各ユニットの共同学習などの成果や企画の案内などを掲示できるようになっています。

## 5 個室

個室は、部屋にこもりすぎないように必要最低限の家具と空間でシンプルに構成しています。ただ、個人学習も重要ですから、集中できるように窓側に机、椅子を配置しています。ベランダもあり、洗濯物も干せる場所として利用できるようになっています。



## 社会の仕組みの根底にある、人の心の働きを分析できる アイデアに富んだ人材を育成する



おいかわ まさのり  
**及川 昌典ゼミ**  
心理学部教授

及川教授の専門分野は、社会心理学です。人間は強く結束し、社会をつくることで繁栄してきました。人と人をつなぎ、社会のネットワークを構築するためにデザインされた心の仕組み、それを解明するのが社会心理学です。

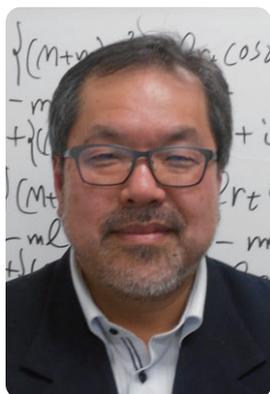
「他にもない自分自身の心の働きが、思い通りにならないのはなぜでしょうか？心の仕組みの多くは、個人の健康や幸福のためにも役立ちますが、社会のために最適化されたデザインになっているため、個人からすれば不可解であったり、不都合であったりすることもあるのです」。及川ゼミのテーマは、セルフコントロールや精神健康、ストレスとプラシーボ効果、ブランドイメージや対人魅力、ステレオタイプや偏見、社会規範と自由意志など多岐にわたります。社会心理学の視点から、個人の枠組みを超えた社会的な心の仕組みを解明します。

3年次から始まるプレゼミ演習では、卒業研究で必要となるスキルを身につけるために、社会心理学の先行研究について発表し、さらにその内容を発展させた、独自の研究アイデアを披露します。「心理学部の学生はおしなべて優秀ですが、知識を身に

つけながら、関心のある問題について既にわかっていることは何か、未解決の問題は何か、それはどこが面白いのかというように、ポイントを押さえた発表をすることで、新しい研究のアイデアが生まれます」。グループワークを通じてプレゼンテーションのスキルを高め、それらが創造的なアイデアを生み出すことを知ってもらうための工夫です。

4年次には、グループごとに独自の実験や調査を行い、データを分析した結果を卒業論文にまとめます。「人の心は複雑な上に、ばらついていて、しかも観察されるとへそを曲げてしまうこともあります」。4年間のカリキュラムを通じて、研究法やデータ解析法について学んできた学生たちにとっても、人の心の働きを分析することは簡単ではありません。「仮説通りの結果はなかなか出ませんが、学会で好評を博す研究もあります。人の心と真剣に向き合うことの喜びは、卒業後も一生の財産になるはずで、4年間の学びの集大成となるゼミの活動や卒業研究の成果を、父母や後輩にも広く公表するポスター発表会は、毎年盛況です。

## 新たな世界を創造するための発想力とそれを実現するための 専門知識を持った研究者・エンジニアの育成を目指す



さとう けんや  
**佐藤 健哉 研究室**  
理工学部教授  
モビリティ研究センター  
センター長

人類はこれまでに、農業革命、産業（工業）革命、そして、情報革命という3つの大きな社会構造変革を起こしてきたと言われています。情報革命の基盤となる電子計算機が発明されて75年、インターネットが誕生して50年、人々のコミュニケーションの方法から知識・知能の利用形態、さらには社会のあり方まで、他の革命と比較して非常に短期間で大きな変革をもたらされました。これらは、人と人、人とコンピュータをつなぐ情報通信技術がもたらしていますが、今後はモノとモノをつなぐ技術、いわゆるモノのインターネット（IoT）に進化していくと予想されています。

我々ネットワーク情報システム研究室では、このような社会変革の基盤技術の一つであるIoTの中でも、特にモビリティ分野に着目しています。例えば、自動運転車両がネットワークに接続され、車載レーザやカメラのセンサ情報を、複数の車同士、車と信号機の間で共有し相互に協調できれば、交通事故や渋滞がより少なくなり、環境にも優しい安全で快適な交通社会が実現可能となります。

この「協調型自動運転」を実現するためには、高信頼・低遅延の情報処理の仕組みが必要となります。

低遅延の情報処理の代表例がオンライントレードで、世界中から絶え間なく来る注文情報をミリ秒単位で成立させるため、情報を流れ（ストリーム）として効率よく高速で処理しています。自動運転の分野では処理遅延は人の生命に直結するため、よりシビアな確実性が求められます。センサ情報をストリームとしてとらえ、それを優先度に応じて分散処理させることで、協調型自動運転に向けた高信頼・低遅延の情報処理システムの実現が可能となります。

自動運転の分野に限らず、情報技術は非常に速いスピードで発展しており、今後どのような新しい技術が登場してくるかは予想できません。一方で、技術の急速な発展は人類にとって負の影響をもたらす可能性もあります。

当研究室では、最先端技術を研究しつつも、それを生み出す根底となる基礎知識に関する教育も実施することで、新たな世界を創造するための発想力とそれを実現するための専門知識、さらに良心を持った研究者・エンジニアの育成を目指しています。





## 文献から話しことばを、ことばから話す「人」を知る力を養う



やまもと さわこ  
**山本 佐和子ゼミ**

文学部准教授

私のゼミでは、日本語の語詞・語彙、文法、敬語、文字・表記について、歴史的観点から研究しています。日本語を歴史的に見ると、言語の特徴によって、奈良時代及びそれ以前～平安時代の「古代語」と、中世鎌倉時代～現代までの「近代語」に大きく二分できます。このゼミでは、「近代語」を主に扱います。私の専門は、古代語から近代語へのダイナミックな変化が観察できる中世室町期の語詞や文法の研究です。

日本語の歴史的研究は、各時代の様々な文献を資料として観察・記述する実証的手法で行います。ことばの研究は、音声言語を基本にします。これは、ことば（言語）というシステムの基本は音声だという考えに基づくものです。諸言語の中には、文字を持たないものも存在します。

いうまでもなく、話された言葉はその場で消えてしまい、書かれた言葉しか残りません。歴史的研究では、書かれたものから各時代の音声言語を再構築する過程が必要です。しかし、様々な文献を比べて、各時代の人々がどのような言葉を使って話していたのかを考える過程は、とても楽しいものです。私は、新たに中世語の資料となる文献を探す研究もしてお

り、ゼミ生も、これまで言語資料にはなっていなかった書物等を積極的に調査しています。

また、近年の日本語史研究では、方言も、日本語の史的変容の一端として参照することが基本手法の一つになっています。ゼミでは、自身の内省が効く（文法性が判定できる）方言について、ご家族に協力してもらいながら記述を行う学生もいます。

授業では、3年次の春学期には、概説書等を輪読して日本語学の基礎知識を確認し、日本語史の研究テーマを概観します。秋学期は、近代語の口語資料について、各自関心のあるテーマに沿った事象を観察し、文献資料の調査方法を身につけます。言語調査は時間がかかるので、3年次生のうちに卒業論文のテーマ・主要な調査資料を決定します。卒論のテーマは、資料研究、語史、文法史、現代語文法、文体・レトリックなどです。4年次春学期は卒論の中間報告、夏休みには調査と草稿の執筆、秋学期は個別指導です。

ゼミ生同士は、オンライン授業では全員カメラがONのままといった仲ですが、週一度集まって自由に意見交換し、サラッと別れる大人な雰囲気は毎年度同じで、私のゼミの特徴かもしれません。



## 憲法を通じ、異なる考えや信条を持つ者たちが共存し合う枠組みを、作り維持することの大切さを学んでもらう



おがた たけし  
**尾形 健ゼミ**

法学部教授

憲法を学ぶ私のゼミでは、基本的人権に関する事例問題を素材に、学生間で合憲・違憲の立場を決め、ディベートの形式で行ってきました。ヘイトスピーチやインターネット上の表現活動といった表現の自由に関わる問題、あるいは、性的少数者をめぐる問題など、基本的人権をめぐる論点は、唯一の正解があるわけではないので、与えられた事例を前提に、また、代表的な最高裁判例や学説を駆使しながら、最先端の論点を考えてもらいたいと思っています。ディベートは、学年やその時の論題によって、盛り上がることもありますが、そうでないこともあり、同じ素材でも毎年学生の反応は異なり、ゼミ運営の楽しさと難しさを感じてきました。

また、私のゼミでは、「座学」ととどまらない形で学修することも目標にしてきました。他大学との合同ゼミ（これまで、九州大学・京都大学・早稲田大学と行ってきました）や、裁判所見学などがそれに当たります。他大学の学生と交流したり、裁判所などを見学することを通じて、立体的に学んでもらえればと思ってきました。4年ゼミの最終学期（秋学期）は、自分たちの手で未来の憲法草案を作成することをテーマに、ゼミ論集の作成に取り組んでい

ます。

ゼミ生は、学内高校出身者はもちろん地方出身者も多く、多様なバックグラウンドを形成しています。卒業後は、公務員（国家・地方）や民間企業への就職者、法科大学院・大学院法学研究科への進学者など様々です。

おそらく、専門職に就かない限り、憲法を学んだからといって、その知識が社会に出て役に立つとか、仕事の上で有用であるということは、正直いって多くはないと思います。ただ、憲法は、出自の異なる様々な信条や思想を持つ人々が、それでもなお共存していこうとする公共的な枠組みをどのように構築するかが、論点の一つとなってきました。ゼミでのディベートや他大学の学生との交流などを通じ、学生自身で主体的に問題を理解・把握し、その対処を論理的に考える力を養ってもらうこと、そのためには、出自が異なり、また、考え方も異なる者たちが、一つの目標に向かって協働しようとするのがとても大事であるということ、少しでも学び取って、社会に出てもらえたら、と願っています。

# 脳機能の解明は自然科学と人間科学の最重要課題 国際レベルの成果で先進の研究拠点を確立する

脳機能は人間の存在の根幹を成すものであるが、その全体的な仕組みは未だ解明されていない。行動神経科学研究センターでは脳科学、生命科学、動物行動学、実験心理学の協力を得て、多様な行動を担う高次の神経メカニズムを究明しようとしている。共通の研究テーマは「行動と脳」である。各分野から集結した多くの研究員によって国際レベルの成果を生み出し、先進の研究拠点を確立したいと考えている。アメリカやロシアなどから脳科学の卓越した研究者を招聘する国際シンポジウムの開催なども計画している。

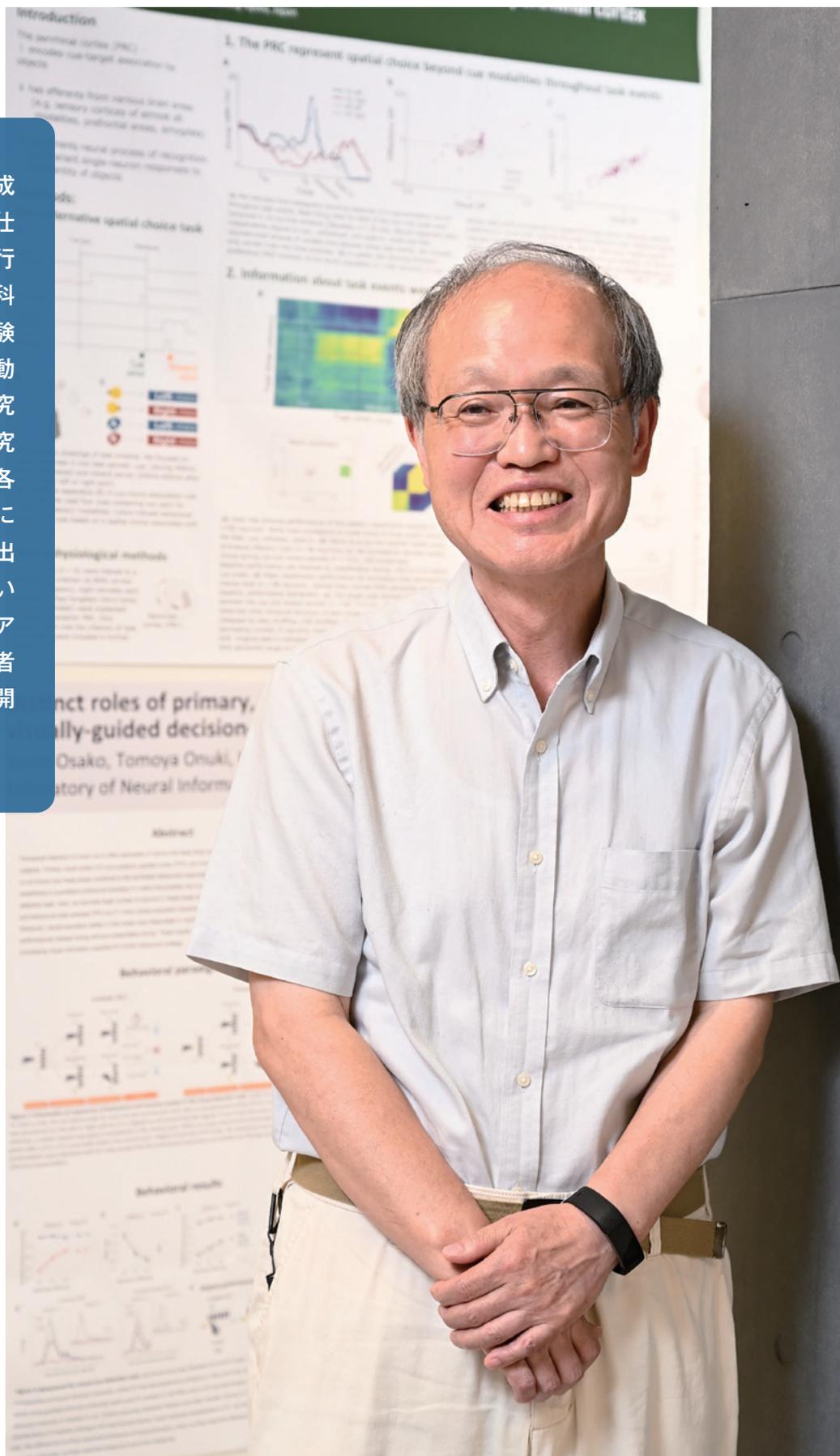
## 行動神経科学研究センター

研究センター長

### 櫻井 芳雄

【大学院脳科学研究科教授】

1981年京都大学大学院文学研究科博士課程中退、1985年富山医科薬科大学（現富山大学）医学部（心理学）助教授、1996年京都大学霊長類研究所助教授、1999年京都大学文学研究科教授、2015年より現職。心理学に関心を持ったのは高校3年生の時。その後、心を科学する脳の研究に邁進。オフは漫画で気分転換。小学校入学前後に月刊誌『少年』で連載された『鉄人28号』に夢中になり、現在も諸星大二郎の作品などを愛読している。



## 脳全体の作動原理の究極の目標

本研究センターでは「行動と脳」を中核テーマに掲げ、外部刺激の認知、状況の判断、記憶の形成などを司る脳の高次機能を解明しようとしている。研究対象とする部位は海馬、前頭連合野、側頭葉、大脳基底核、嗅皮質など様々である。高度な機能は様々な部位が連絡し、統合的に働いているからである。「脳が特定の情報（課題）を処理している時、どのような神経細胞から成る神経回路が脳内のどの領域でどのように活動しているのかを探究しています。脳全体の機能を解き明かすことが脳科学の究極の目標です。私は心理学から脳科学へと研究をシフトして今日に至っています。科学的に心を知るということは、心を生み出している脳の機能を明らかにすることだと考えたからです。脳機能の究明は自然科学と人間科学の最重要課題であり、行動神経科学は脳研究の真髄だと確信しています。その研究成果は社会に大きく役立つはずですよ」と櫻井芳雄研究センター長は語る。

自身の研究テーマとして長年にわたり取り組んできたのは、神経細胞間の機能的な結合によって逐次形成され、脳の情報表現を担う神経細胞集団「セル・アセンブリ」の実態と可塑性（機能の向上などの変化）の究明である。その成果は、脳の神経活動で機械を操作するブレイン・マシン・インタフェース（BMI）の研究開発にも直結する。すでに脳の高次機能の働きと神経細胞の電気的活動の相関関係が分かかってきており、これを読み解けば人間の意図や欲求を解読できるからである。この先端技術を実用化できれば、脊髄損傷や筋萎縮性側索硬化症（ALS）などの障害の支援や精神疾患などの克服にも大きく貢献できる。現在、櫻井研究センター長は脳科学の伸展に貢献する研究拠点の確立を目指して日々邁進している。また、同志社大学ブランディング事業「宇宙生体医工学研究プロジェクト」のグループリーダーも務めており、その新たな成果にも多くの期待が寄せられている。

## 依存症などの治療に直結する研究成果

センター研究員の廣川純也准教授（研究開発推進機構）は、脳の司令塔といわれる前頭連合野が他の部位をどのように制御しているかを探究している。これまで神経回路レベルで行われる意思決定のプロセスは未解明であったが、コールドスプリングハーバー研究所（アメリカ）のアダム・ケベックス教授らとのラットを用いた共同研究で「適切な意思決定を可能にする神経回路の特定」に

成功した。前頭葉の腹側に位置する眼窩前頭皮質は意思決定に必須な情報をカテゴリー的に符号化（情報を「表現する」機能）する細胞群から構成されており、これらは基本情報（選択の履歴、報酬の量、内的な自信など）を持つ細胞群と統合された価値情報を担う細胞群から形成されていることを解明した。「統合された価値情報は大脳基底核の入力部である線条体へ伝達されていることも判明しました。この情報出力が正常に行われなかった場合は、意思決定に障害が起これ、依存症やうつ病などを発症します」。本研究成果はこのような精神疾患に対する効果的な治療法の開発にも直結する画期的なものであり、昨年12月には世界的に権威のあるイギリスの科学誌『Nature』に掲載された。



## 匂いが記憶を呼び覚ます心理現象を探究

センター研究員の眞部寛之准教授（研究開発推進機構）は、嗅覚系の研究を通じて脳機能の本質を解き明かそうとしている。「脳機能の探究において最も重要なのは、外界の情報を脳がどのように処理し、出力しているかです。情報を捉える感覚系（五感）の中から嗅覚系に着目したのは、視床を介さずに感覚情報が嗅皮質に到達するシンプルな系であり、情動や記憶などを担う脳領域に直結しているからです。嗅覚の情報は嗅上皮から嗅球を経て嗅皮質へ伝達されます。嗅球までの基本機能は明らかになってきましたが、嗅皮質の情報処理機構は分かっています。これを解明することによって脳機能の根幹に迫りたいのです」。本研究の第一の目的は、匂いとエピソードをつなぐ連合記憶の神経回路機構を明らかにすることである。現在、眞部准教授は前梨状皮質が匂い情報とエピソードを連合しているのではないかと考察している。これは匂いによって過去の経験が想起される心理現象「プルースト効果」を神経科学的に解明する糸口になる。また、嗅皮質の各領域および全体の機能の解析、脳全体を特定の情報モードに変換する回路機構の究明にも挑んでいる。



象「プルースト効果」を神経科学的に解明する糸口になる。また、嗅皮質の各領域および全体の機能の解析、脳全体を特定の情報モードに変換する回路機構の究明にも挑んでいる。



同志社校友会上海大懇親会 (2019年12月 今宮氏撮影)

**ガンバレ!!**  
一人暮らし  
同志社大学生

食生活応援クーポン協力店

同志社大学生一人暮らし食生活応援クーポン  
500円 sample  
発行: 同志社校友会  
2020年5月8日(金)開始

同志社校友会本部  
〒602-0867 京都市上京区今町通丸太町上4  
TEL: 075-251-4393 | FAX: 075-253-2171  
URL: <http://www.doshisha-alumni.jp> | MAIL: [doshisha.alumni@gmail.com](mailto:doshisha.alumni@gmail.com)

## 同志社校友会活動、同志社大学との連携

# 世界に広がる「同志社ネットワーク」 これまで34万人の校友会員が国内外で活躍 同志社校友会

同志社創立から10年後の1885年(明治18年)に「アルムニ(Alumni)会」という名前をもって発足したのが同志社校友会の始まりです。同志社小学校、同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社国際学院初等部・国際部、同志社大学の卒業生および、大学院修了生で組織されています。これまで約34万人の校友会員が国内外で活躍し、その交流の拠点となっているのが校友会です。

## 同志社校友会基本方針

同志社校友会は、同志社の発展に寄与するという目的を掲げ、支部の基盤を強化し、大学事業支援、学生支援、卒業後の社会人活動支援に軸を置いて活動を行っています。近年は海外支部との連携も深まり、大学のグローバルな展開の支援も行っています。



同志社校友会会長  
井上 礼之

昭和32年経済学部卒業  
ダイキン工業株式会社  
取締役会長 兼  
グローバルグループ  
代表執行役員

主な社外歴  
日本経済団体連合会 常任幹事  
関西経済同友会 代表幹事(平成11年~平成13年)  
関西経済連合会 副会長(平成13年~現在)  
阪急阪神ホールディングス(株)、(株)大阪国際会議場、  
テレビ大阪(株)3社の社外取締役 等

## 校友会活動を通して、学生生活だけでなく卒業後もサポートしています。

### 学生の皆さんへ

### キャンパスライフでのサポート

#### ①各種奨学金制度(給付型)

- 同志社校友会奨学金
- 同志社スポーツ奨学金
- 同志社校友会グローバル人材育成奨学金(海外留学支援)

#### ②学生緊急支援制度(学生セーフティネット)

経済的な理由などで学業の継続が困難になった場合、大学と連携して緊急支援を行っています。とくに今年のコロナ禍下の5、6月には学外で使用できる500円(後、追加として300円)の食事クーポン券を1人当たり10枚、申し込み学生に発行いたしました。

#### ③大学連携事業

大学と連携した企画やサポート企画、毎

週1回「100円」でおいしい朝食を学食で提供する「朝食倶楽部」への支援など、学生の皆さんのキャンパスライフが豊かになるよう大学と一緒に支援を行っています。

#### ④京田辺活性化支援

支部総会や地方でのイベントなど校友会とクラブが連携して行う活動の支援や、クラブ課外活動の告知サポートなど。

#### ⑥学生海外活動支援

海外の支部や校友会員の企業を拠点として、留学生活サポートや海外インターンシップを応援します。

#### ⑦国内外支部との連携

地元への就職や新しい土地への赴任先の最新の情報にアクセスできるよう、国内外支部との連携や活動を支援しています。

### 卒業後のサポート

#### 「校友会のネットワーク」を活かす!

就職や転職の情報が知りたい! 就職、転職、転居が決まった! そんな時は「その地域の支部」に連絡してみてください。あなたの先輩がいろんな情報を教えてくれます。

そして同志社を卒業したあなたは「校友会員」です。「同志社校友会大懇親会」や支部の企画に参加してみましょう。諸先輩から有用な情報や、時には適切な人脈を紹介してもらえるかもしれません。ビジネスだけでなく趣味や生活など「ここだけの校友会情報」がたっぷり。

同志社校友会のネットワークは学生の皆さんの「キャンパスライフ」と卒業後の「同志社ライフ」が豊かになるよう、ワールドワイドに展開しています。

# 世界に広がる「同志社ネットワーク」

https://www.doshisha-alumni.gr.jp/ (2020年10月15日現在)

会員情報の変更・会費についてのお問い合わせはこちらまで。

TEL : 075-251-3087 E-mail: info04@doshisha-alumni.org  
https://www.doshisha-alumni.gr.jp/kaini/touroku 担当: 田邊(たどろ)

## 国内支部 (48支部)

**北海道支部** TEL : 011-382-2188  
E-mail : info@hokkaido.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://hokkaido.doshisha-alumni.org

**青森県支部** TEL : 090-4044-7071  
E-mail : info@aomori.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.aomori.doshisha-alumni.org

**岩手支部** TEL : 090-1376-7374  
E-mail : info@iwate.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.iwate.doshisha-alumni.org

**宮城県支部** TEL : 022-378-1253  
E-mail : info@miyagi.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.miyagi.doshisha-alumni.org

**秋田県支部** TEL : 018-823-0730  
E-mail : akita.doshisha@gmail.com  
HPアドレス : http://akita.doshisha-alumni.org

**山形県支部** TEL : 023-622-7195  
E-mail : info@yamagata.doshisha-alumni.org

**福島県支部** TEL : 0248-25-2046  
E-mail : info@fukushima.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://fukushima.doshisha-alumni.org

**茨城県支部** TEL : 0297-83-5630  
E-mail : info@ibaraki.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://ibaraki.doshisha-alumni.org

**栃木県支部** TEL : 028-622-8844  
E-mail : info@tochigi.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.tochigi.doshisha-alumni.org

**群馬県支部** TEL : 027-283-9444  
E-mail : info@gunma.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.gunma.doshisha-alumni.org

**埼玉県支部** TEL : 090-5318-7340  
E-mail : info@saitama.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.saitama.doshisha-alumni.org

**千葉県支部** TEL : 080-9527-4831  
E-mail : info@chiba.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.chiba.doshisha-alumni.org

**東京支部** TEL : 03-5579-9728  
E-mail : office@doshisha-tokyo-alumni.jp  
HPアドレス : http://doshisha-tokyo-alumni.jp/

**神奈川県支部** TEL : 045-851-8260  
E-mail : info@kanagawa.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://kanagawa.doshisha-alumni.org

**山梨県支部** TEL : 090-6158-1058  
E-mail : info@yamanashi.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.yamanashi.doshisha-alumni.org

**長野県支部** TEL : 0263-87-5222  
E-mail : info@nagano.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.nagano.doshisha-alumni.org

**新潟県支部** TEL : 025-247-7117  
E-mail : info@niigata.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.niigata.doshisha-alumni.org

**富山県支部** TEL : 076-421-8585  
E-mail : info@toyama.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.toyama.doshisha-alumni.org

**石川県支部** TEL : 076-266-0555  
E-mail : info@ishikawa.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.ishikawa.doshisha-alumni.org

**福井県支部** TEL : 090-3767-8114

**岐阜県支部** TEL : 058-214-9000  
E-mail : info@gifu.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.gifu.doshisha-alumni.org

**静岡県支部** TEL : 053-548-0711  
E-mail : info@shizuoka.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.shizuoka.doshisha-alumni.org

**愛知県支部** TEL : 052-931-2103  
E-mail : info@aichi.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.doshisha-aichi.com/

**三重県支部** TEL : 059-333-5581  
E-mail : info@mie.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.mie.doshisha-alumni.org

**滋賀県支部** TEL : 077-543-8602  
E-mail : info@shiga.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.shiga.doshisha-alumni.org

**京都支部** TEL : 090-6489-9697  
E-mail : info@kyoto.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.kyoto.doshisha-alumni.org

**大阪支部** TEL : 06-6308-2288  
E-mail : info@osaka.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.doshisha-osaka.jp/

**兵庫県支部** TEL : 078-232-7100  
E-mail : info@doshisha-hyogo.org  
HPアドレス : http://www.doshisha-hyogo.org/

**奈良県支部** TEL : 0742-27-1550  
E-mail : info@nara.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.nara.doshisha-alumni.org

**和歌山県支部** TEL : 073-432-5776  
E-mail : info@wakayama.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.wakayama.doshisha-alumni.org

**鳥取県支部** TEL : 0859-24-0551  
E-mail : info@tottori.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.tottori.doshisha-alumni.org

**島根県支部**  
E-mail : tewt181@ezweb.ne.jp

**岡山県支部** TEL : 090-3746-5612  
E-mail : info@okayama.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.okayama.doshisha-alumni.org

**広島県支部** TEL : 090-3742-1471  
E-mail : info@hiroshima.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.hiroshima.doshisha-alumni.org

**山口県支部** TEL : 0827-31-9346  
E-mail : horiuchi@sky.icn-tv.ne.jp

**徳島県支部** TEL : 088-653-0002  
E-mail : fc8j6p@bma.biglobe.ne.jp  
HPアドレス : http://www.tokushima.doshisha-alumni.org

**香川県支部** TEL : 087-891-9213  
E-mail : info@kagawa.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.kagawa.doshisha-alumni.org

**愛媛県支部** TEL : 080-6385-7545  
E-mail : info@ehime.doshisha-alumni.org

**高知県支部** TEL : 088-855-9880  
E-mail : harimaya@isis.ocn.ne.jp

**福岡支部** TEL : 092-632-8222  
E-mail : fukuoka.doshisha@gmail.com  
HPアドレス : http://www.fukuoka.doshisha-alumni.org

**北九州支部** TEL : 093-621-3646  
E-mail : info@kitakyushu.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.kitakyushu.doshisha-alumni.org

**佐賀県支部** TEL : 0952-62-1198  
E-mail : info@saga.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.saga.doshisha-alumni.org

**長崎県支部** TEL : 095-825-1723  
E-mail : info@nagasaki.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.nagasaki.doshisha-alumni.org

**熊本県支部** TEL : 096-243-1221  
E-mail : info@kumamoto.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.kumamoto.doshisha-alumni.org

**大分県支部** TEL : 097-574-7225  
E-mail : info@oita.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.oita.doshisha-alumni.org

**宮崎県支部** TEL : 0985-23-9081  
E-mail : info@miyazaki.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.miyazaki.doshisha-alumni.org

**鹿児島県支部** TEL : 099-202-0732  
E-mail : info@kagoshima.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.kagoshima.doshisha-alumni.org

**沖縄県支部** TEL : 098-933-9956  
E-mail : info@okinawa.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.okinawa.doshisha-alumni.org

## 海外支部 (36支部)

**ニューヨーク同志社**  
E-mail : nydoshishakaijimukyoku@gmail.com  
HPアドレス : http://www.ny.doshisha-alumni.org

**ワシントンDC同志社**  
E-mail : info@washington.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.washington.doshisha-alumni.org

**米国中西部支部**  
E-mail : info@us-midwest.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.us-midwest.doshisha-alumni.org

**米国西部支部**  
E-mail : info@us-west.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.us-west.doshisha-alumni.org

**同志社校友会トロント支部**  
E-mail : doshisha.toronto@gmail.com

**カナダ同志社バンクーバー**  
E-mail : doshishavancouver@hotmail.com  
HPアドレス : https://www.facebook.com/groups/872835306084224/

**ブラジル・サンパウロ同志社**  
E-mail : yumok@icn.com.br

**韓国校友会**  
住所 : 05607 Lake Palace 125-1803,88, Jamsil-ro, Songpa-gu, Seoul, Republic of Korea

**香港支部:香港クローバー会**  
E-mail : doshisha\_hk@yahoo.co.jp

**北京クローバー会**  
E-mail : atsushi.okushima@horiba.com  
HPアドレス : http://doshisha-sh.wix.com/doshisha-sh#untitled/c1095

**大連同志社クローバー会**

**同志社大学上海クローバー会**  
E-mail : doshishash@gmail.com  
HPアドレス : http://doshisha-sh.wix.com/doshisha-sh

**広州クローバー会**  
E-mail : matsuoaka.yohei@hotmail.co.jp

**青島クローバー会**  
E-mail : info@qd-china.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.qd-china.doshisha-alumni.org

**台湾支部**  
E-mail : kaelisa888@gmail.com

**同志社校友会ベトナム支部今出川倶楽部**  
E-mail : info@vietnam.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.vietnam.doshisha-alumni.org

**フィリピン:マニラクローバー会**  
E-mail : info@manila.doshisha-alumni.org

**タイ:泰国同志社クローバー会**  
TEL : 6686-088-3291

**マレーシア新島会**  
E-mail : kogure\_1969@hotmail.com  
HPアドレス : http://www38.tok2.com/home/masnijimakai/

**シンガポールクローバー会**  
E-mail : koji\_kida@canon.com.sg

**インドネシアクローバー会**  
E-mail : takeda-takashi@hnp.co.jp  
takatama4190@yahoo.co.jp

**オーストラリアクローバークラブ シドニー支部**  
E-mail : taka\_c\_hk2010@hotmail.co.jp  
HPアドレス : http://www.sydney.doshisha-alumni.org

**オーストラリアクローバークラブ ブリスベン支部**  
E-mail : info@brisbane.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://brisbane.doshisha-alumni.org

**トルコ:イスタンブールクローバー会**  
E-mail : minoru.iwamura@nipponpaint.jp

**ドイツクローバー会**  
E-mail : doshishacllover@yahoo.com  
HPアドレス : http://www.germany.doshisha-alumni.org

**パリ同志社クローバー会**  
E-mail : doshishaparis@gmail.com  
HPアドレス : http://www.paris.doshisha-alumni.org

**同志社スペイン**  
E-mail : info@spain.doshisha-alumni.org  
HPアドレス : http://www.spain.doshisha-alumni.org

**ロンドンクローバー会**  
E-mail : atsucoconsole@gmail.com

**フィンランドクローバー会**  
E-mail : italia.clover.alumni@gmail.com

**ミラノクローバー会**  
E-mail : takayuki.kamekawa@daikin.it

**同志社校友会マニラ支部**  
E-mail : info@manila.doshisha-alumni.org

**同志社校友会ベルギー支部**  
E-mail : fumihiko.sano@daikin.co.jp  
HPアドレス : http://belgium.doshisha-alumni.org

**インド:デリークローバー会**  
E-mail : hiroki.nose1977@gmail.com

**インド:バンガロールクローバー会**  
E-mail : doshisha.bangalore@gmail.com  
HPアドレス : https://www.facebook.com/groups/2345992918975420/

**同志社校友会サンマリノ共和国支部**  
E-mail : doshisha.sanmarino@gmail.com

**同志社校友会スイス支部**  
E-mail : yasuyo0201@gmail.com  
HPアドレス : https://www.facebook.com/groups/2454176671564792/



## 2020年度 卒業式・学位授与式(学部・大学院)



日時	学部・研究科	場所
3月20日 (土・祝)	10:00 法学部・法学研究科	京田辺校地 デバイス 記念館
	12:30 文学部・文学研究科	
	15:00 神学部・神学研究科、社会学部・社会学研究科、 グローバル地域文化学部、国際教育インスティテュート	
3月21日 (日)	10:00 政策学部・総合政策科学研究科、 グローバル・スタディーズ研究科、 司法研究科、ビジネス研究科	
	12:30 商学部・商学研究科	
	15:00 経済学部・経済学研究科	
3月22日 (月)	10:00 文化情報学部・文化情報学研究科、 生命医科学部・生命医科学研究科、 スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科、 心理学部・心理学研究科、 グローバル・コミュニケーション学部、脳科学研究科	
	13:00 理工学部・理工学研究科	

## 2021年度 入学式(学部・大学院)



日時	学部・研究科	場所
4月1日 (木)	10:00 商学部、理工学部、生命医科学部、 グローバル・コミュニケーション学部	京田辺校地 デバイス 記念館
	12:00 神学部、法学部、経済学部、心理学部、 グローバル地域文化学部	
14:00 文学部、社会学部、政策学部、 文化情報学部、スポーツ健康科学部、 国際教育インスティテュート		
4月3日 (土)	10:00 全研究科	栄光館

※今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、時間・場所・実施形態変更や中止する可能性があります。

## 本学教員の執筆図書紹介

(価格は税別)

### 使う使える臨床心理学

石川信一 他 著 弘文堂 2,500円

### 香道調度図 香道籠之菊

岩坪健 福田智子 他 著 淡交社 6,500円

### 入門・日本経済 第6版

野間敏克 他 著 有斐閣 3,500円

### 西洋教育思想史 第2版

小野文生 他 著 慶應義塾大学出版会 3,800円

### 自己修復材料、自己組織化、形状記憶材料の開発と応用事例

古賀智之 東信行 他 著 技術情報協会 80,000円

### 高分子材料のトライボロジー制御

大塚和也 中村守正 他 著 技術情報協会 80,000円

### EU 第4版

力久昌幸 他 著 創元社 3,000円

### 経営組織入門

瓜生原葉子 他 著 文眞堂 1,900円

### 新プリメール民法5 家族法 第2版

神谷遊 他 著 法律文化社 2,500円

### 逐条解説会社法 第6巻

山下友信 他 著 中央経済社 6,200円

### 民事手続法の発展

中西正 他 編著 川崎四郎 他 著 成文堂 25,000円

### よくわかる中小企業

関智宏 編 関智宏 中道一心 他 著 ミネルヴァ書房 2,500円

### 国語語彙史の研究 三十九

藤井俊博 他 著 和泉書院 9,000円

### よくわかるEU政治

月村太郎 他 著 ミネルヴァ書房 2,700円

### 宗教は現代人を救えるか

小原克博 他 著 平凡社 880円

### 変容する「二世」の越境性

吉田亮 編 吉田亮 他 著 現代史料出版 2,800円

### ベーシック条約集 2020

坂元茂樹 他 編 東信堂 2,600円

### 法執行システムと行政訴訟

横田光平 他 著 弘文堂 5,400円

### キリスト教史の学び 上

越川弘英 著 キリスト新聞社 2,000円

### いろいろあるコミュニケーションの社会学 Ver.2.0

妹尾麻美 他 著 北樹出版 1,900円

### 新・ケースで学ぶ国際私法 新版

高杉直 他 編著 法律文化社 3,200円

### 医療系学生のための医用質量分析学テキスト

池川雅哉 他 著 診断と治療社 3,500円

### メディア産業論

伊藤高史 他 著 ミネルヴァ書房 3,000円

### 感情・人格心理学

及川昌典 他 著 遠見書房 2,600円

### 雇用関係の制度分析

樋口純平 他 編著 寺井基博 上田眞士 岩月真也  
中村詔子 他 著 ミネルヴァ書房 7,000円

### 日本思想史事典

望月詩史 他 著 丸善出版 22,000円

### 論点・西洋史学

岸本廣大 阿部俊大 他 著 ミネルヴァ書房 3,200円

### 今、礼拝を考える 新装増補版

越川弘英 著 キリスト新聞社 1,800円

### 図解スポーツ健康科学入門

北條達也 編 北條達也 高倉久志 福岡義之  
海老根直之 上林清孝 若原卓 他 著 金芳堂 3,000円

### 考えを深めるための教育原理

奥野浩之 他 編著 島田喜行 児玉祥一  
中瀬浩一 他 著 ミネルヴァ書房 2,400円

### 民法の基礎1 総則 第5版

佐久間毅 著 有斐閣 3,100円

### 持続可能な経営と中小企業

関智宏 編 関智宏 足立光生 他 著 同友館 1,800円

### 教養の会計学

田口聡志 著 ミネルヴァ書房 2,800円

### グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育

向正樹 他 著 大阪大学出版会 2,300円

### プロセス講義民法I 総則

大中有信 佐々木典子 他 著 信山社出版 3,400円

### はじめての刑法学

川崎友巳 十河太郎 他 著 三省堂 2,600円

### 越境する社会運動

中西久枝 他 著 明石書店 2,500円

### 今後の大学教育を考える

山田礼子 他 著 広島大学高等教育研究開発センター

### 苦難と救済

石川立 他 著 教文館 3,200円

### 縄文石器提要

津村宏臣 水ノ江和同 他 著 ニューサイエンス社 5,000円

### 刑法の重要課題をめぐる日中比較法の実践

川崎友巳 他 著 成文堂 2,500円

### はじめての民事手続法

川崎四郎 他 編著 有斐閣 2,300円

### 政策と地域

山谷清志 他 監修 ミネルヴァ書房 2,600円

### 総合研究カナダ

神崎舞 他 著 関西学院大学出版会 2,800円

### ヨーロッパ私法・消費者法の現代化と日本私法の展開

川和功子 勝山教子 尾形健 他 監訳 日本評論社 7,500円

### 線形代数学 第2版

多久和英樹 他 著 学術図書出版社 2,000円

### LEGAL QUEST 民法I 総則 第2版補訂版

佐久間毅 他 著 有斐閣 2,600円

### 治療共同体実践ガイド

毛利真弓 他 著 金剛出版 3,400円

### 民事陪審裁判が日本を変える

川崎四郎 他 著 日本評論社 3,500円

### 憲法演習ノート 第2版

松本哲治 他 著 弘文堂 3,000円

### 刑法演習サブノート210問

十河太郎 他 著 弘文堂 2,900円

### 労働法制の改革と展望

土田道夫 他 著 日本評論社 5,000円

### 官僚制の思想史

森裕城 他 著 吉川弘文館 4,500円

### 危機のアメリカ「選挙デモクラシー」

飯田健 他 著 東信堂 2,700円

### プレグジット×トランプの時代

小野塚佳光 著 萌書房 2,400円

### 歴史の教訓

兼原信克 著 新潮社 760円

### 神経・生理心理学

畑敏道 他 著 ナカニシヤ出版 2,300円

### 入門国際租税法 改訂版

占部裕典 他 著 清文社 3,000円

### 議会審議の国際比較

武蔵勝宏 他 著 北海道大学出版会 5,800円

### 現代税法と納税者の権利

田中治 他 著 法律文化社 7,800円

### 洗礼を受けるあなたに

越川弘英 他 著 日本キリスト教団出版局 1,600円

### 標準テキスト スポーツ法学 第3版

川井圭司 他 著 エイデル研究所 2,500円

### AI時代の教師・授業・生きる力

阪田真己子 他 著 ミネルヴァ書房 2,600円

### 学校で地域を紡ぐ

佐藤守弘 他 編著 小さ子社 2,800円

### 統治のデザイン

浅羽祐樹 他 著 弘文堂 2,800円

### 企業金融・資本市場の法規制

川口恭弘 他 著 商事法務 11,000円

### 日韓の歴史問題をどう読み解くか

太田修 他 著 新日本出版社 2,000円

### 独居高齢者のセルフ・ネグレクト研究

鄭熙聖 著 法律文化社 4,000円

## INTERVIEW

### 同志社人 訪問



「山野はるひさん  
〔神学部4年次生〕」

「内田誠さん  
〔1991年神学部卒業〕」

日産自動車株式会社 社長兼最高経営責任者(CEO)

# 内田 誠さんに聞く

2019年12月、日産自動車の社長兼CEOに就任、  
新生日産を牽引する内田誠さんに、同志社大学 神学部の後輩  
山野はるひさんがインタビューしました。

## 海外の学校での生活は カルチャーギャップの連続

**山野** 幼少時代、海外で過ごされたそうですね。どのような学校生活を送られていたのでしょうか。

**内田** 父の仕事の関係で小学校1年から5年までエジプトに住み、カイロの日本人学校に通っていました。教員含め20人ほどの小さな学校で、家族的な雰囲気がありましたね。その後帰国し、大阪のマンモス校に入学。中学2年からはマレーシアに住み、英語を必死で覚え、インターナショナルスクー

ルに入学しました。その頃、日本人はまだ珍しい存在で「なぜ、ちょん曲げをしてないんだ」なんて言われるような世界(笑)。なんとか周りに溶け込みたくて、アメフト部に入り友人を作りました。そして高校2年の終わり頃に再び日本へ。帰国子女を受け入れていた同志社国際高校に入学しましたが、ブランクが長かったせいで、今度は日本語がままならない。入学試験で初めて漢文を目にして「日本なのになぜ中国語が出るのか」と先生に質問したのを覚えています。

**山野** そんな紆余曲折があったとは驚

きです。その後、同志社大学神学部に入學されたのは、海外経験が影響しているのでしょうか。

**内田** そうですね。マレーシアのインターナショナルスクールにいた時です。「おまえの宗教は何だ」といきなり友人に聞かれ、なぜそんなことを聞くのだろう、と不思議に思ったのです。自分は仏教だけれども宗派を知らない、知見がないから説明もできない。その頃の自分にとって、宗教はとても希薄なものでしたから。けれども、世界には宗教を大切にする文化があり、生活や人生についてまわるものなのだな、



「自分らしさ」を見つけ、磨きをかける  
大学はそれができる場所です

今回の同志社人

内田 誠さん 【1991年 神学部 卒業】

うちだ・まこと 1966年生まれ。大学卒業後、日商岩井（現双日）に入社。2003年に日産に中途入社、アライアンス共同購買部門に配属。新興国向けブランド「ダットサン」の収益管理責任者などを経て2016年常務執行役員。2018年専務執行役員。東風汽車有限公司総裁として中国事業を率い、2019年12月から現職に。小学校時代はエジプト、中高時代はマレーシアで過ごす。

と。その時の気づきが、宗教や神学の関心につながったのだと思います。

1ドル紙幣が教えてくれた  
アメリカという国の課題

山野 神学部の授業で印象に残っていることはありますか。

内田 「キリスト教と現代社会」の授業が面白かったですね。印象的だったのは「1ドル紙幣の裏に描かれた未完成のピラミッドと目は、アメリカ社会を象徴している」という話です。大国アメリカは、まさに未完のピラミッド。共通の何かを媒体として人を繋げないと、一方向に進まない国です。そして、人を繋ぐための共通媒体が目、つまり「宗教」。それは、大統領のスピーチに聖書の引用が多いことにもつながっていると。「ああ、そういうことなのか」

と感動しましたね。講義の中の15分ほどの話でしたが、今でも鮮明に覚えています。

37歳で新たなチャレンジ  
商社を飛び出し、日産へ

山野 「牧師よりサラリーマン」という当時の新聞記事を拝見しました。この頃は、神学部卒業生のほとんどが牧師になられたのですね。

内田 そうです。就職は少数派でした。企業の面接で、自分が神学部出身だと話すとすごく不思議がられましたね。

山野 数ある業界の中から商社を志望された理由を教えてください。

内田 世界を相手にダイナミックな仕事をしたいという強い思いがあり、商社を選びました。実は最初、証券会社を志望していたのです。「ウォール街」という映画を見て証券会社もいいな、と。けれども証券会社の方から「君がやりたいことは商社だ」とアドバイスを受けまして（笑）、それからは商社一本に絞って就職活動。日商岩井（現双日）に入社しました。

山野 商社から日産へ転職されたきっかけは何だったのでしょうか。

内田 商社の仕事に不満があったわけではないです。当時、インターネットが急速に普及し、商社業界は大きな変革期を迎えていました。何かもう一回やるなら今しかないな、と。日商岩井でフィリピンに5年間駐在し、三菱自動車のオペレーションに携わり、より深く自動車産業に関わりたいと思ったことがきっかけです。また、飛躍的な成長を遂げていく日産にも魅力を感じ



ました。ルノー・日産がスキームとして進めていた共同購買事業に興味を持ち、面白そうだなと思ったのです。それで一般公募を受け、2003年に入社しました。37歳の時です。

**山野** ヘッドハンティングではなく、ご自身の挑戦だったのですね。

**内田** そうです。転職からこれまでの経緯を話すと皆さん、とても驚かれます。

## どんな時も、どんな意見でも聞く努力をすることが大切

**山野** 私はサークルのリーダーをしていた時、人をまとめる難しさを痛感しました。グローバルな組織を束ねる企業のトップとして、リーダーシップについてどうお考えですか。

**内田** 日産には、トランスパレンシー(透明性)、リスペクト(尊敬)、トラスト(信頼)というキーワードがあります。私は、この言葉を自分の信条として動いてきました。ビジネスを成功させる上でも、上司と部下の関係性においてもこの3つは非常に重要です。まず、透明性を持つものごとを共有する。それは自分自身をさらけ出すことでもあります。その上で、相手の思いや立場を尊重する。そうすることで始めて信頼関係が生まれます。リーダーシップとは、信頼を築くことであって、周りの人に「この人と一緒にやっていきたい!」と思ってもらうことなのだと考えています。それができる人は魅力があり、リーダーとして力を発揮できる人間だと思うのです。

**山野** 一緒にやっていきたいと思っもらう…そのためには何を心掛ければよいのでしょうか。

**内田** 人の話を聞くことが一番大事です。それはビジネスもサークルも一緒です。例えばサークルの中で、早く結論を出さなければならない時、リーダーは、周りの意見を十分に聞いているでしょうか。忙しい時や早く進みたい時、イエスカノーかを聞き、急いで結論を出して、論議をおろそかにしがちですが、それは一番よくないことです。忙しくても、難しい状況であっても、常に現場の意見を聞く努力をし

なければならない。そのために自分の「聞く」キャパシティを広げておくことが必要です。そして、ガイド役となつて、その意見に対し、言うべきことを言い、進む方向をはっきりと示す。それが、私が考えるリーダーシップなのです。

## 順応力と英語力は海外経験で培った「強み」

**山野** これまでの経験で培われた自身の強みは何でしょうか。

**内田** 様々な変化に対する順応性です。これは、幼少時代の海外経験が大きいですね。その時々や環境や文化に自分が順応しなければ、学校の仲間とうまくやっていけませんでしたから。今も社会人として、どんな状況に置かれてもフレキシビリティを持って対応していく自信があります。英語力も強みです。英語は、グローバル化時代の重要なツール。日産の経営会議はすべて英語です。インターナショナルスクールでは苦労しましたが、体で覚えたものはしっかりと染みついている。自分の「今」を作っている、一つの要素になっています。

## 誰にも負けない部分を磨き「自分らしさ」を作る

**山野** これからの社会に求められる人材とは? また、どんな能力が必要なのでしょうか。

**内田** 社会に出ると「自分らしさ」と

いうものが非常に重要になります。ですから、学生の皆さんには語学でも部活でも趣味のことで何でもいい、誰にも負けない「これだ!」というものを見つけて、磨きをかけてほしいと思います。会社というのは、状況の変化や様々な困難を乗り越え、常に成長し続けなければなりません。そのためには多様なアイデアが必要で、人と違った強みを持つ、様々なタイプの人材が求められます。会社としてもそうした人材を資産として育てていきたいのです。また、自分らしさをアピールできる人は、非常に魅力的です。自由な時間が持てる学生のうちに、ぜひ自分らしさを見つけてください。磨いてください。同志社大学には、自分らしさが育つ環境と自由な風土があるのですから。



### インタビューを終えて



インタビューー  
**山野 はるひ** さん  
【神学部 4年次生】

やまの・はるひ 京都府出身。一神教を通じて、世界にある様々な考え方を知りたいという思いから神学部に入學。3年次から小原克博教授のゼミに所属。自然が好きで環境問題に関心を持ち、ゼミでは科学技術と自然観の関係について研究。サークルはギタークラブに所属、リーダーを経験。

内田社長は、柔らかな雰囲気があり、誰に対しても同じ目線で接してくださる方という印象を持ちました。一学生の私の言葉も真摯に受け止めていただき、感動しました。特に心に響いたのは「人の話を聞くことが一番大事」というメッセージです。現場の様々な人の意見を聞き、それを積み重ねて、よりよいものを創るという考えは、素晴らしいと思いました。私は、来年から社会人になります。社会に出ると、これまでとは違う様々な人と関わっていくことになります。そんな中で、どんな方の意見もしっかり聞けるよう、自分のキャパシティを広げる努力をしていきたいと思っています。

# My Job,

私と「仕事」

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生

その姿が学生の皆さんの将来の

こせ あつや  
小瀬 敦也さん

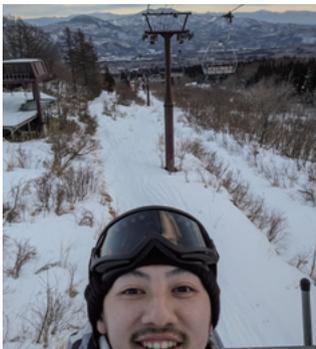
[2015年 理工学部電子工学科卒業]  
GROOVE X株式会社 ソフトウェアエンジニア

## 挑戦と成長を糧に 世の中になくものを生み出す

### Off time



キャンプ。焚き火の写真。



スノーボード(毎年1回は行きます)



ドラム。今も現役でバンドを続けていて、今度アルバムを出します。

GROOVE Xは2015年設立のロボット開発企業です。家族型ロボット「LOVOT(らぼっと)」の開発・販売を行っており、私はソフトウェアエンジニアとして、音声認識を担当しています。「LOVOT」のコンセプトは「役に立たないけど愛おしい」。モノを運んだり、代わりに仕事をしてくれたりといった人の役に立つ機能はありませんが、生活に癒しを与えてくれるロボットです。

GROOVE Xを知ったのは、社会人1年目のとき。同社設立のニュース記事を読んだのがきっかけでした。人型ロボット「Pepper」の開発に携わっていた林要氏(現代表取締役)の新会社と話題で。そのときに「LOVOT」開発の思いやコンセプトに強く共感。前職は、半導体を設計する会社で、技術職として入社しましたが、よりクリエイティブな仕事に携わりたい思いが強くなり、転職を決意。当時はロボット開発に関する知識や経験も乏しい状態でしたが、林社長に「なんでもやるので働かせてください！」と猛アピールし入社。当初は雑務中心でしたが、優秀なベテラン社員たちと仕事をともにすることで技術や知識を吸収し、半年後には、「LOVOT」のプロジェクトに携わるようになりました。

制作過程で特に印象深いのは、鳴き声の

開発です。私とプロデューサー、エンジニアの3人でチームを組み、2年の月日を費やしました。鳴き声を感情豊かに表現するため、毎回声を自動生成するプログラムを開発。まだ世の中になくものを生み出す作業はとても大変でしたが、大きな達成感とやりがいを感じることができました。

今こうして仕事ができるのも、近藤弘一教授の研究室でプログラミングを学んだから。自由な発想を認めてくれたおかげで、プログラミングのおもしろさを知ることができました。卒業前には、自分の論文が研究室の最優秀賞を受賞し、大きな自信に。また、軽音サークルで活動していたバンドがCDデビューし、ライブで海外に行くなど貴重な経験を得ることができました。大学時代に培ったプログラミングと音楽の経験を活かしたい思いは、新卒で就職した後も消えず、積極的に情報収集しているなかで「LOVOT」のプロジェクトに出会うことができました。

主体的に動けば、必ず道は拓ける。後輩の皆さんには、様々なことに積極的に挑戦して欲しいです。挑戦の先には、いい出会いが待っています。就職活動では、当社のようなベンチャー企業も視野に、自分が成長できそうな場所を探してみてください。皆さんの健闘を祈っています。

# My Life

第84回



を訪ね仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。

もりかわ あやこ  
森川 綾子さん

キャリア・プランに役立てば幸いです。

【2018年 スポーツ健康科学研究科修了】  
株式会社アシックス  
コアパフォーマンススポーツフットウェア統括部  
開発部 フィールド開発チーム

## トップアスリートの高度で多様なニーズを的確に捉え 時代を先取りする商品開発に挑み続ける

子どもの頃からスポーツが大好きで、水泳の高飛び込みや体操競技など様々な競技に熱中してきました。スポーツに関する学びも深めたく、大学ではスポーツ健康科学部を選び、大学院へも進学しました。私にとってスポーツは人生の大きな一部だったので、キャリアを考えるうえで自ずとスポーツ業界に心惹かれました。その中でも海外で生まれ育った経験から、日本人ならではの視点や丁寧さを世界に発信したいと考え、グローバル展開が進んでいるアシックスを第一志望に選びました。実際お話を聞きした先輩の方々の快活な人柄にも惹かれ、一次から最終まで面接を重ねる度に志望度が高まりました。内定の知らせを受け取った時、小躍りするほど感激したのを今でも鮮明に憶えています。入社すると期待以上に働きやすく、社員の個性を重視し、上下の隔てなく活発に意見が言える伸びやかでグローバルな社風でした。入社当初からフィールド開発チームに配属され、今年で3年目を迎えました。担当分野はサッカーとラグビーのシューズです。市場の動向をとらえながら、デザイン・構造・仕様・カラーなどをコスト計算も含めて試作を繰り返し、新商品を創り出すのが仕事です。ときにはトップアスリートに直接会い、そのニーズを細かく分析し、商品開発に最大

限に反映させています。昨年開催されたラグビーワールドカップ2019™日本大会でも多くの選手から貴重な意見を聞くことができました。選手のシューズへの注文は非常にシビアであり、また多様です。その中から何を重視し、絞り込むのか。これが常に頭を悩ませるところです。それだけに選手の方などから良い評価を得た時や、店頭で自分が開発した商品をお客様が手にしている姿を見た時は、言葉では表せないほどのやりがいを感じることができます。また、かつて何でも自分一人で抱え込み、行き詰まっていた時、「チームを頼りなさい。必ず誰かが助けてくれるから…」という先輩の助言で組織や仲間の大切さを痛感しました。それからは「気楽に楽しく」を胸に刻み、日々挑み続けています。

スポーツ大国のアメリカを見聞し、その際立つ点を実感するために、2年次秋から1年間、カリフォルニア大学で学んだことも、仕事をする上で大きな糧になっています。同志社大学では、個を尊重し、自分を律する大切さを知りました。様々なチャンスがある環境の中、常に挑戦を続け、多くの出会いがありました。その一つひとつが現在の自分に活きていると思っています。後輩の方々にも挑戦の心を持ちながら過ごしてほしいです。

### One day on the job



🕒 09:00 出社

メール・スケジュールチェック。開発商品の試算やコスト確認など。コンセプトやコストに合った商品のデザイン・構造・仕様・カラーの検討ミーティングなど。



🕒 12:00 昼休み

昼食は社内食堂で食べています。天気の良い時は同期社員と外の芝生でまったり。



🕒 13:00

ミーティングで決定したシューズの仕様や構造を実際に形にしていけるための資料作成など。



🕒 16:00

開発段階のシューズを高校生・大学生にモニターとして履いていただき問題がないかチェック。



🕒 18:00 退社

退社後はジムに通ってリフレッシュしています。



### Off time

基本アクティブに過ごしています。走ったり、山に登ったり、器械体操もたまにしています。



## アーチェリー東京五輪日本代表2次選考会を3位で突破 栄光のオリンピックメダルを射止めるために 来年3月開催の最終選考会に向けて猛練習を続けている

今年3月21、22日に静岡県で開催されたアーチェリー東京五輪日本代表2次選考会で安久詩乃さんは3位に入り、最終選考会へ進んだ。大会前は、新型コロナウイルス感染症の拡大で他校との合同練習もできないなどの外的な要因もあって、調子を落としていた。立ち直るきっかけを与えてくれたのは、モンテリオール五輪銀メダリスト・道永宏監督の助言だった。「左足の重心を指摘され、構えの歩幅を広げることによって基本に戻れたのです。それまで自分の感覚に過敏になり、細部の動きが非常に気になっていたのですが、これですべての迷いが消えました」。選考会2日目は不規則な強風が吹き、コンディションは良くなかったが、常に平常心を心掛け、最後まで競技に集中。70mラウンド2回(144射)で1260点の成績を残した。「とにかく、一安心!!」というのが試合後の実感だったと振り返る。また、3位通過に関しては上位2選手との得点に開きがあることが課題であり、最終選考会までに心技をさらに強化し、一つでも順位を上げたいと意気込む。

アーチェリーに出会ったのは同志社女子中学校1年生の春だった。友人に誘われ、どのようなスポーツなのかもまったく知らずに入部した。「当初は筋力トレーニングの繰り返し。3歳から14歳までクラシックバレエを習っていたので基本姿勢は良かったのですが、身体の線が細かったのも、その点でも人一倍の努力が必要でした」。このような日々が持ち前の負けず嫌いな気性に火をつけ、練習にのめり込んでいく。同志社女子高等学校に進学後は自宅のガレージに手作りの練

習場を設け、特に試合のあった日は確認と修正を行い、体幹トレーニングにも黙々と打ち込んだ。その成果は高校2年生の時に挑んだ全国高校総体2位として結実。大学でも道永監督が制止するほどの練習量をこなし、大学2年次生で全日本学生アーチェリー個人選手権2位を獲得した。射撃の安定感を高めるために、昨年の春から取り組んだフォーム改造も成功し、得点力が伸びた。現在は練習でできることを試合でも発揮できるように、1本でも多く矢を射ることを心掛けている。

「すべては自己を鍛え高めるための糧だと思っています。その一つがアーチェリーです。昨年6月から務めている女子主将も人間的な成長に大きく役立ちました。いま所属している心理学部・杉若弘子先生のゼミでは、パーソナリティ心理学を研究しており、数多くのことを学びました。また、3年次の最初の試合で得た貴重な気づきも私の心構えを変えてくれました。以前は自身の限界はここだと決めていました。負けたら辛いので、自分への言い訳を用意し、逃げていたのです。しかし、このままでは永遠に壁を超えられないと気づきました。これが新たな挑みの揺るぎない支えになっています」。後輩の方々も自分に限界を設けず、すべてに果敢に挑戦してほしいと語る。当初は今年4月に実施される予定だった最終選考会は、約1年後の来年3月に開催される。自らをチャレンジャーと位置づける安久さんは、この延期を實力強化のチャンスと捉え、メダルを射止めるために猛練習を続けている。



あぐうたの  
**安久 詩乃さん**  
【心理学部 4年次生】